

京極読書新聞 <創刊号>

発行日 平成20年12月16日(火)
京極町生涯学習センター湧学館

少し歯ごたえのある小説を読もう！

湧学館 新谷 保人

<発刊の辞>

「京極読書新聞」は大きな湧学館行事があったときに発行される京極町民のための読書マガジンです。

この創刊号は、第1回の京極中学校 出前図書館に合わせてつくられました。

これからもこの「京極読書新聞」発行が続くよう、湧学館にご意見、ご要望をお寄せください。

<目次>

- ・ 少し歯ごたえのある小説を読もう！
- ・ 大笑いし、涙し、大どんでん返しに驚く…… <感動する本>
- ・ 「寄り道は人生の本道だ！」<よりみちパン！セシリーズ>
- ・ 中学生はこれを読め！

中学生だった時に読んだ本の中には、その時には、何が書かれているのかまるでわからず、放り投げってしまった本がいくつもあります。そんな本でも、時間がたって、たとえば、大学の自由な時間がいっぱいある環境の中で、その本を落ち着いて読み返してみれば、「なあーんだ、こういうことだったのか！」と一気に氷解することもあります。結婚し、子どもが生まれて、子育てにあくせくしている最中に「ああ、あの小説のヒロインの感情は、これだったのか！」と気がつくこともありました。

本が読めないということ、そんなに気にすることはありません。言葉を知らないのは誰でも同じです。みんな、本を読む中で言葉や使い方を憶えてゆくのですから。

若くて、未熟で、理解できなかった本も、大人

になって読み返せばすっきりわかり感動することもあります。けれど、若い時に本を読まなかった人は、お金も時間も自由に使える大人になっても、本の世界には戻ってこないでしょう。「読み返す」ということができないから。

心に「読んだけれどわからなかった」という傷がない人は少し退屈。「俺はなんでもわかっている」といった態度が、他人の目にはものすごく不自然に映ります。



大笑いし、涙し、大どんでん返しに驚く……

というわけで、「(今はわからなくても)大人になったらガンと感動しますよ」という本をいくつかご紹介します。

◆ エミリ・ブロンテ「嵐が丘」

私の読んできた本の中では、これが究極のラブ・ストーリー。本当に感動したのは大学生の時。中学生には、こういう恋愛感情は難しかった。

◆ ブラッドベリ「何かが道をやってくる」

日本語訳では「何か」と訳されていますが、原題は「something wicked」。何か「邪悪なもの」「まがまがしいもの」が道をやってくるのです。この本で初めて、世の中に「司書」という職業があることを中学生の時に知りました。

◆ ヘルマン・ヘッセ「漂泊の魂」

中学の時もそれなりに感動したのだが、孤独な大人になって、より深く私の人生に関わる一冊になった。

◆ 筒井康隆 七瀬三部作「家族八景」「七瀬ふたたび」「エディプスの恋人」

NHKのテレビドラマでやっていた「七瀬ふたたび」は筋書が大きく書き換えられています。できれば、三部作の始まり「家族八景」で大笑いし、そして、「七瀬ふたたび」で涙し、「エディプスの恋人」の大どんでん返しに驚く……というのがよいと思います。

「寄り道こそ、人生の本道だ！」

湧学館 向出絵梨香

料理を作っているときのつまみ食いがやめられなかったり、部屋の掃除中に手にした本をうっかり読み耽ってしまったら…。「よりみち」ってすごく魅力的で、ついやってしまうんですね。

今回紹介するのは、理論社から出ている「よりみちパン！セ」シリーズです。中学生以上のすべての人を対象にした新書で、テーマは憲法・恋愛・冒険…とバリエーションに富んでいます。

◆多田文明「ついていったら、だまされる」

世の中にはワナがたくさん！誰でもみんな、だまされる。

◆重松清「みんなのなやみ」「みんなのなやみ2」

悩みと向き合う悩みの本。重松さんが優しく答えてくれます。

◆藤井誠二・武富健治「悪いことしたら、どうなるの？」

少年犯罪について。少年院の様子を描いた漫画が重い…。

◆倉本智明「だれか、ふつうを教えてください！」

私のふつうと誰かのふつうって同じ？全盲の作者のふつう。

画像あり

タイトルの「寄り道こそ、人生の本道だ！」という言葉は、よりみちパン！セのホームページから。よりみちして得たものが後になって偶然に役立ったりしたら、ちょっと嬉しくなるかも。ここで紹介したのはほんの一部

▲みんなのなやみ2

中学生はこれを読め！

画像あり

ご存知ですか？「中学生はこれを読め！」。ある札幌の書店で、店内に中学生向けの本がないことに気づいた店長が、自分で読んで「面白い」と思った本を“本屋のオヤジのおせっかい「中学生はこれを読め！」”としてコーナーと作り、フェアを開催したのがはじまりです。今ではこの取り組みが全国にまで広がっています。

▲ 本も出ています。

小学生のときは、ときどき本を読んでいただけれど、中学生になってからは部活や

勉強が忙しくて…という人も多いのではないのでしょうか？そんなあなたに、おせっかいでも間違いなく面白い本を勧めてくれるのがこのセクション。本の全てにコメントがついているのも見所のひとつです。例えばこんな本があります。気になる1冊、探してみてくださいね。

◆「夕凧の街 桜の国」～ 覚えておきたい静かな静かな物語

◆「エドウィッチからの手紙」～ 市長あてに書いた1通の手紙

◆「となり町戦争」～ 不条理すぎてワクワクします

◆「穴」～ いじめられっこの大逆転劇

発行

京極町生涯学習センター湧学館
044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

